

事業番号	14 03 01	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業費			担当課	部局	教育委員会事務局
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト			課・室	高校教育課	
	施策の総合的展開	7-1	子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実	E-mail	koko@pref.nagano.lg.jp	
		5	すべての子どもの学びを保障する支援		実施期間	H17 ~

1 事業の概要

目指す姿	生活支援相談員を中心とした高校生活支援体制づくりにより、各高校に在籍する日本語が不自由な外国籍生徒及び帰国生徒が、日本語(特に読み書き)や日本独特の風習・習慣の壁をスムーズに乗り越え、併せて、高校卒業後において、日本の市民社会の一員として円滑に人間関係を構築して社会的、経済的自立ができるちからを身につける。					
現状	<ul style="list-style-type: none"> 県立高等学校に在籍する外国籍生徒の数は、平成22年度に300人を超え、平成24年度には340人となっている。 外国籍生徒の増加に伴い、日本語の理解や使用、授業や日常生活に支障のある要支援生徒数も相対的に増えている。同時に、当該生徒の家族とのコミュニケーションにも支障を生じている場合もあり、生活支援相談員の活動の機会は増加している。 					
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input checked="" type="checkbox"/> その他(設置者が行う事業)		<input type="checkbox"/> 左記の説明、根拠法令等 県立高等学校に在籍する要支援生徒への修学支援として設置者が行う事業			

事業内容	① 成果目標(H24)																									
	各校の現状と要望を把握しながら支援員の配置を行い、各校に在籍する日本語が不自由な外国籍生徒及び帰国生徒が安心して高校生活を送ることができるようにする。																									
	② 事業内容 (単位:千円)																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">実施方法</th> <th rowspan="2">H24事業実績</th> <th colspan="2">H24</th> <th>H25</th> </tr> <tr> <th>(当初)</th> <th>(決算)</th> <th>(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業</td> <td>直接</td> <td>相談員配置校 24校 相談員配置数 23名 相談等従事時間数 947時間</td> <td>2,905</td> <td>2,898</td> <td>3,054</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>2,905</td> <td>2,898</td> <td>3,054</td> </tr> </tbody> </table>						項目	実施方法	H24事業実績	H24		H25	(当初)	(決算)	(当初)	日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業	直接	相談員配置校 24校 相談員配置数 23名 相談等従事時間数 947時間	2,905	2,898	3,054	合計			2,905	2,898
項目	実施方法	H24事業実績	H24		H25																					
			(当初)	(決算)	(当初)																					
日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業	直接	相談員配置校 24校 相談員配置数 23名 相談等従事時間数 947時間	2,905	2,898	3,054																					
合計			2,905	2,898	3,054																					

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	現況(見込)	H24			H25目標
		当初予算	3,258	3,258	2,905	3,054			目標	成果	達成状況	
		補正予算					相談員配置校	21校	24校	24校	達成	24校
		合計(A)	3,258	3,258	2,905	3,054						
	Aの財源	国庫支出金										
		県債										
		その他()										
		一般財源	3,258	3,258	2,905	3,054						
	決算額(B)	3,311	3,209	2,898								
概算人件費	職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50							
	概算人件費(C)	4,159	4,129	4,129	4,129							
概算事業費(B(A)+C)	7,470	7,338	7,027	7,183								

目標に対する成果の状況	生活支援相談員を24校に配置し、帰国生徒及び外国籍生徒が、高等学校における授業及び日常生活において速やかに適応できるように、言語、学習、日常生活等について必要な支援を行った。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 平成25年度は、生活支援相談員数を24年度と同数と見込み、集団学習による要支援生徒の日本語習得支援を行う。また、必要に応じて団体への訪問、情報交換及び研修会への参加も可能となるよう見直した。
---------------------	--